

授業科目(ナンバリング)	生活支援技術IVB (DD210)			担当教員	浦 秀美		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本科目は、<u>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための基礎技術や基礎知識を身につけることをねらいとする</u>。具体的に、健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援について身につける。また、自立に向けた身じたくの介護についての内容で、生活支援の基礎的な知識・技術を習得する。さらに、実践の根拠について説明が出来る能力を身につける。</p> <p>本演習を受講することで、本学のディプロマポリシーでも示されている（介護福祉士としての）専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p>							①④⑧
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	身じたくの意義や、安全・安楽な身じたく、睡眠の意義や安全・安楽な睡眠に関する技術について理解し、説明することができる。					定期試験	50%
情報収集、分析力	身じたくや睡眠に援助が必要な利用者が抱える課題など情報を収集し分析を行い、課題解決をするための思考・判断ができる。					課題レポート	10%
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づいて、他の人の意見を傾聴するとともに身じたくや睡眠に係る課題について自分の意見を明確にした上で、相互理解を図る議論に参加できる。					課題レポート 演習課題	10% 10%
協働・課題解決力	自己実現を可能にする身じたく・睡眠に関する援助を、適切に実施できる。					演習課題	20%
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験 50%、演習課題 30%、課題レポート 20%、により総合的に評価する。</p> <p>定期試験は、筆記試験を実施。身じたく・睡眠についての概要や支援方法、アセスメントのポイント、心身に与える影響などについて設問し確認する。</p> <p>レポートは、睡眠、身じたくに関するポイントや知識について確認し、演習は主に身じたく（着脱介助・口腔ケア・耳かき、爪切り）に関するポイントを確認し評価する。なお、演習内容に関しては、授業内にコメントの形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>安全で心地よい自立・自律に向けた身じたくや睡眠の介護について、知識や技術を習得していく。具体的には、ICF視点でのアセスメントを行う際の着眼点も確認しながら、心身や日常生活への影響を考察していく。また、事例検討や演習を通し、具体的な支援技術方法を学び知識を確認する（ディスカッションも行う）。</p> <p>参考資料や演習手順等については随時プリントにて補足を行う。演習内容によっては演習レポートを作成することで、知識や技術の定着を図る。授業の振り返りやレポートは、ポートフォリオのレポート機能やアンケート機能を用い提出することもある。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ』中央法規出版株式会社</p> <p>参考書：授業中に適宜紹介する</p> <p>指定図書：『最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ』中央法規出版株式会社</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること

ケアは場合によっては他人に実施される恥ずかしさや抵抗感もあります。その気持ちも学びます。また、ケアそのものの実施から爽快感や喜びなどを心身への影響があることを学びます。そして、その人らしい、睡眠の確保や身じたくは、プライバシー保護を念頭に置くことが重要です。その人の価値観や生活習慣など沢山学ぶことがありますので、必ず予習・復習を行い知識と技術を身に付けてくれることを期待します。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>自立に向けた身じたくの介護①</u>	オリエンテーション 身じたくの意義と目的、利用者のアセスメントを学ぶ。	予習：身じたく内容調べる 復習：身じたくの要約
2	<u>自立に向けた身じたくの介護②</u>	生活習慣と装いの楽しみを支える介護の工夫、整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメントを学ぶ。	予習：自身の生活習慣について調べる 復習：装い・整容の違いについて確認する
3	<u>自立に向けた身じたくの介護③</u>	身じたく介助の技法（口腔の清潔・義歯）を学ぶ。	予習：口腔ケアの意義調べ 復習：口腔ケアの要約
4	<u>自立に向けた身じたくの介護④</u>	身じたく介助の技法の実際を学ぶ（整容・更衣）。	予習：整容について考える 復習：レポート作成
5	<u>自立に向けた身じたくの介護⑤</u>	身じたく介助の技法の習得（衣服着脱 その1） 利用者の状況・状態に応じた衣類着脱を実践する。	予習：レポート発表まとめ 復習：指導内容確認
6	<u>自立に向けた身じたくの介護⑥</u>	身じたく介助の技法の習得（衣服着脱 その2） 利用者の状況・状態に応じた衣類着脱を実践する。	予習：着る・装うと心の関係を調べる 復習：授業内容の要約
7	<u>自立に向けた身じたくの介護⑦</u>	身じたく介助の技法の習得（衣服着脱 その3） 利用者の状況・状態に応じた衣類着脱を実践する。	予習：脱健着患の意味調べ 復習：脱健着患の要点
8	<u>自立に向けた身じたくの介護⑧</u>	身じたく介助の技法の習得（衣服着脱 その4） 利用者の状況・状態に応じた衣類着脱を実践する。	予習：着脱介助時の声かけイメージ 復習：指導内容の再確認
9	<u>自立に向けた身じたくの介護⑨</u>	利用者の状態・状況に応じた身じたく介助の留意点と他職種の役割と協働について学ぶ。	予習：他職種の身じたく支援調べ 復習：多職種取り組み整理
10	<u>休息・睡眠の介護①</u>	休息・睡眠の意義と目的、睡眠障害、不眠の原因を学ぶ。	予習：なぜ休息・睡眠をとるのか考える 復習：不眠の原因整理
11	<u>休息・睡眠の介護②</u>	健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し睡眠に関する利用者のアセスメント（ICFの視点）について学ぶ。	復習：後期内容の総復習
12	<u>休息・睡眠の介護③</u>	安眠を促す環境を整える支援・安眠のための介護の工夫、安眠を促す介助の技法について学ぶ。	予習：睡眠スタイル確認 復習：安眠方法整理
13	<u>休息・睡眠の介護④</u>	安眠のための介護の工夫、安眠を促す介助の技法について学ぶ。	予習：アセスメント項目を調べる 復習：安眠アプローチ整理
14	<u>休息・睡眠の介護⑤</u>	利用者の状態・状況に応じた介助の留意点（不眠時の対応）他の職種の役割と協働について学ぶ。	予習：安眠を促す用具を調べる 復習：不眠時対応整理
15	後期まとめ	生活支援技術IVBで学んだことについて振り返る。 後期の内容について復習を行う。	予習：資料内容確認 復習：授業内容のまとめ
16	定期試験		